

鷹揚郷新聞



第29号 梅雨明け見送りの夏特集
2020年8月発行

8月20日撮影の岩木山

患者友の会より

新型コロナウイルスの二次感染が東京を中心に山場を迎えております。コロナさえ無ければ、今頃は東京オリンピック開催で日本は金メダルの山、そして弘前はねぷた祭りで大いににぎわっていた事でしょう。

さて、今月は患者会→地区腎友会→県腎協→全国腎臓病患者連絡協議会(略して全腎協)の目的を説明いたします。

昨今、全国の腎臓病患者で人工透析をされている約30万人強の医療費は年間1兆5千億円。多すぎるから減らせと言う政党も出てきております。もしそうなると、各自の自己負担が増やされる事になります。

全腎協は患者さんの自己負担がこれ以上増えないように国会請願をしたり、国会議員との協議を続けております。我々会員も国会請願の署名を集めております。



その他医療についても、安心して透析が受けられる社会であり続けるための活動を続けております。

病気が治ったら退院する病院の患者さんとは違い、我々は死ぬまで透析を続ける病院の仲間なのであります。寿命を延ばし、元気に暮らすために、食事や水分の制限を守り、薬をきちんと服用し、血圧を管理して、共に長生きいたしましょう。


その為に勉強会を毎年開催しております。どうぞこの患者友の会の内容をご理解いただき、一人でも多くの方が、ご加入下されば幸いです。いつでも加入できます。


玄関患者会ポストに加入申込書を用意してあります。会費を添えて、看護師さんにお渡しください。お待ちしております。

鷹揚郷弘前病院 患者友の会 会長 木村 健二



※ 患者様へお願い ※

 当院へ受診予定の患者様は、**発熱のある場合は必ず**受診前に電話連絡をお願い致します。

 また、直近**14日間以内**に**県外へ移動**された患者様は、受診前に当院に電話連絡をお願い致します。



(公財) 鷹揚郷腎研究所弘前病院 病院長

ワンポイントアドバイス

皆さん、こんにちは。医療福祉部の道川です。「新型コロナウイルス感染症」について様々な規制が全国的に緩和されましたが、全国各地で再び感染者が増加している状況であり、まだまだ青森県内でも気が抜けない毎日をお過ごしかと思えます。

今回は「新型コロナウイルス感染症」に伴う各種支援についてご案内します。まず全国的に最も周知されているのが「**特別定額給付金**」です。基準日(令和2年4月27日)において、住民基本台帳に記録されている方全員を対象に、給付対象者の属する世帯の世帯主の方が申請、**給付対象者1人につき10万円が支給**されます。

申請方法はオンライン方式と郵送方式がありましたが、弘前市では現在はオンライン方式の受付は終了しており、郵送方式での申請のみとなっております。**申請期限は、8月31日(月)当日消印有効**となっているため未申請の方は早めの申請をお勧めします。また、自治体によって申請期限が異なっておりますのでご注意願います。

そのほか経済活動が縮小された結果、収入が減少し、各種支払いが困難な方に対しては**国民健康保険料や介護保険料の減免、税金や上下水道の支払猶予**、生活資金の確保としては**社会福祉協議会からの緊急小口資金や総合支援資金の貸付**といった支援も示されています。これら以外にも様々な支援がありますが申請窓口や申請方法等、それぞれ異なっておりますので確認の上での申請が必要です。

各種支援について、ご不明な点がある場合は医療福祉部でもご相談を承りますのでお気軽にお声がけ下さい。

終息まで感染対策をしながら、皆さんで何とか乗り切りましょう。



8月 ミニ歳時記

お盆

8月が来るとやはり大事な日がお盆。終戦記念日と重なり、人々は祖先を供養します。このお盆はかつては旧暦7月13日～16日に行いましたが、今では新暦を採用してからもそのままの7月と月遅れの8月に行う地域に分かれています。お盆は、正式には「**盂蘭盆(うらぼん)**」といい、古代のインド語の一つであるサンスクリット語の「ウラバンナ」を漢字にあてはめた言葉です。

仏壇に供える**キュウリの馬**は、これに乗って早くこの世に戻り、**ナスの牛**に乗ってゆっくりとあの世に戻ってほしいという願いが込められています。

リレー寄稿

こんにちは。放射線科で放射線技師をしている石田秀樹です。今年はコロナの影響で様々な場所で活動自粛を余儀なくされ、ストレスを感じておられる方も多いと思います。そんなストレスをみなさんはどうやって解消していますか？



ルアー ↓



こんなとき私は趣味である**釣り**に行きます。釣りは密集地を避けられて自然の空気も吸えるので気分転換にはもってこいです。今回このような機会がもられたので、釣りに関して疑問に思っていることを調べてみました。

私は普段**ルアー**という魚の形をした疑似餌を使うのですが、何で魚はこんなウソくさい疑似餌に食いつくのだろうと不思議に思っていました。ルアーは色も形も様々で使う色によって釣果は全然違います。

いったい魚にはどんなふうに見えるのだろうか？調べると魚の視力は人間の視力検査でいう0.1～0.2程度で、ものすごく目が悪いそうです。

しかし、魚の目には望遠機能があり、遠くにある対象物を見るのは人間よりかなり優れています。つまり魚は遠くに動く何かは発見できるが、接近してそれが何かなのかはハッキリわからないまま食らいついてしまう猪突猛進な生き物なんです。また色が識別できるかはまだ解明されてませんが、見た色が濃いか薄いかはわかるそうなので色の違いもわかるようです。個人的には**赤い色**がよく釣れる気がするので、魚も闘牛のように赤い色に興奮して突っ込んでしまうのでしょうか？

釣りは魚の気持ちがわかれば一番いいのですがそれはできないので今回調べたことや他に魚が出没する時間、場所、習慣などを調べ上げてこれからも楽しんでいこうと思います。

みなさんも、この夏ふらっと海や山に出かけて**自然を感じてみて**はいかがでしょうか？

次回は放射線科の大湊靖主任にお願いします。

【編集後記】 今年は東北北部の梅雨明けは発表見送りでした。立秋(8/7)も過ぎ、季節は秋に移行していきます。夏は少しあった？ 鷹揚郷 広報部